



2019年11月12日

各 位

会社名 中外鉱業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 芳賀 一利
 (コード番号 1491 東証二部)
 問合せ先 IRセンター室長 桜庭 勲
 (TEL. 03-3201-1541)

2020年3月期第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と2020年3月期通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,400	140	130	20	0.07
今回修正予想 (B)	13,355	△615	△654	△229	△0.79
増減額 (B-A)	△1,045	△755	△784	△249	
増減率 (%)	△7.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	14,318	△184	△215	△223	△0.77

2. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	29,400	350	310	100	0.35
今回修正予想 (B)	28,200	△510	△570	△200	△0.69
増減額 (B-A)	△1,200	△860	△880	△300	
増減率 (%)	△4.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	26,457	593	532	123	0.43

3. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、貴金属事業において、米中通商対立の激化、世界経済の減速が米経済に及ぼす影響等の懸念から金価格が上昇基調で推移したことに加え、不動産事業において、福岡県福岡市の販売用不動産の売却が寄与し概ね堅調に推移したものの、投資事業において、投資事業売上高が東京商品取引所東京金先物取引による運用損失9億9百万円を計上したことから売上高10億45百万円、営業利益7億55百万円、経常利益7億84百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益2億49百万円がそれぞれ前回見込みから減少いたしました。

通期の連結業績予想値につきましては、米中貿易協議の不透明感や香港情勢の緊迫化等により金相場が不安定な状況下にあることから売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を上記のとおり修正いたします。

今後、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表時において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なることがあります。

以上